

科目名称：	インテリア・コーディネート演習 I	
担当者名：	大場新之助、東田修一、西田恵子、塩村 亜希、森みち子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8
授業の目的・テーマ		
インテリアコーディネーターになるための知識や技術の基礎を身につける。また、インテリアコーディネーター資格及びキッチンスペシャリスト資格取得を目指すための基礎を学び、身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
インテリアコーディネートを実践するための知識と技術の基礎を身につけ、簡単なインテリアコーディネートが行える。また、資格取得のための基礎知識や基礎技術を身につける。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP (2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP (3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP (4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP (1)					0
美術DP (2)			100		100
美術DP (3)					0
美術DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1週 インテリアコーディネートの基礎	インテリアコーディネートの具体例を調べる。	40分
第2週 インテリアコーディネートの実践1	優れたインテリアコーディネートを集める。	40分
第3週 インテリアコーディネートの実践2	具体的なインテリアアイテムを調べる。	40分
第4週 インテリアコーディネートの実践3	DIYの道具について調べる。	40分
第5週 インテリアコーディネートの実践4	DIYの道具の使用方法を調べる。	40分
第6週 インテリアコーディネートの実践5	カラーコーディネートについて調べる。	40分
第7週 インテリアコーディネーター資格学科基礎1	学科試験内容を調べる。	40分
第8週 インテリアコーディネーター資格学科基礎2	過去の学科試験問題を解いてみる。	40分
第9週 インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎1	プレゼンテーション問題の内容を調べる。	40分
第10週 インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎2	過去のプレゼンテーション問題を解いてみる。	40分
第11週 インテリアコーディネーター資格論文基礎1	論文試験について調べる。	40分
第12週 インテリアコーディネーター資格論文基礎2	過去の論文試験を書いてみる。	40分
第13週 インテリアコーディネート演習1 (資料をディスカッションする)	インテリアコーディネートの資料を揃える。	40分
第14週 インテリアコーディネート演習2 (実例についてディスカッションする)	インテリアコーディネートの実例を調べる。	40分
第15週 インテリアコーディネート演習3 (スタイルについてディスカッションする)	インテリアコーディネートのスタイルを調べる。	40分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題をまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 提出課題の良否で100%評価する。		
課題に対するフィードバック		
それぞれの課題をプレゼンテーション等を通して、各教員が評価しフィードバックする。		
教科書・参考書		
インテリアコーディネーターハンドブック総合版上・インテリアコーディネーターハンドブック総合版下		